



2025年2月26日

各位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピーテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役 松原 さや子
TEL 052-218-8785

2024年12月期 通期決算説明会 質疑応答について

当社は、2025年2月21日に2024年12月期通期決算説明会を開催いたしました。
質疑応答の要旨を以下のとおりお知らせいたします。

決算内容の詳細につきましては、2025年2月10日公表の決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

No.	質問	回答
1	H-1337 の今後のシナリオについて、「適切なパートナーの探索」（決算説明資料 23 頁）とは、どのような意味でしょうか。	フェーズ3に向けて、ライセンスアウト活動を行い、パートナーを探すことを表しています。
2	H-1337 のライセンスアウトに向けて、既にディスカッション等は行われているのでしょうか。	ライセンスアウト活動は、昨年から積極的に開始しております。
3	K-321 のフェーズ3試験の初期結果等はいかがでしょうか。	試験期間が2025年12月まで延びていますので、結果が分かるのはそれ以降になります。
4	DW-5LBT は、2025年承認の計画となっていますが、新たな課題等、承認の確度はいかがでしょうか。	過去2回のCRLを受領しておりますので、早期の申請を目指し、現在追加解析の作業を行っております。
5	2025年度中に新規パイプライン追加の見込みはいかがでしょうか。	現時点で具体的な見込みはありませんが、研究活動は積極的に進めて新規パイプラインの追加を目指していきたいと考えています。
6	2025年以降の中長期のイメージや定量的な目標について伺えますでしょうか。	2020-2024年に目標としていたパイプラインの本数を達成したため、今後はパイプラインの質を上げていきたいと考えております。そのため、2025年以降は定量的な目標を設定しておりません。中長期的なイメージとしては、次のパイプラインの創出が課題と考えていますので、様々な共同研究に取り組み、当社の3つの成長ドライバーを活用し、眼科疾患で期待される新しいパ

		イプラインをこの3-5年で作っていくことが目標となります。
7	黒字化のタイミングは、2026-2027年以降と考えてもよいでしょうか。	H-1337が業績に大きく影響しますので、短期的には、H-1337のライセンスアウトにより黒字化を達成する可能性はあると考えています。長期的には、H-1337のロイヤリティ収入が入る時期となりますので、3-5年くらいかかると考えています。

以 上